

ネパール緊急学校復興事業が完工



オリエンタルコンサルタンツグローバルが詳細設計などを実施した「ネパール国緊急学校復興事業」の完工式典が10日、カトマンズ市で開かれた。アショク・クマール・ライ教育科学技術大臣ら同国要人のほか、日本から菊田豊ネパール国駐在特命全権大使、大久保晶光国際協力機構（JICA）ネパール事務所長らが参加した。

式典では、同教育科学技術省とJICAネパール事務所から

オリコンサルグローバルに感謝状

同社の黄國鳳執行役員総合開発事業部長に感謝状が授与された
写真。

同事業は、2015年4月に発生したネパールの首都カトマンズ北西約77kmに位置するゴルカ郡を震源とするマグニチュード7・8の大地震からの復興を目的に、17年1月に着工。特に甚大な被害を受けた6郡を対象に、JICAの円借款事業（借款契約額140億円）として、「Build Back Better（より良い復興）」をコンセプトに、274校の小中高等学校を再建・耐震化した。オリコンサルグローバルは、2203教室をはじめ、116実験室、184図書室などの施設や設備・機材を整備し、約10万人の生徒と約5000人の教師に再び学びの場をもたらした。この事業の詳細設計と入札支援、施工監理などを担当した。